

連研通信

十勝組研修部

2010/5/29

を思いだします。
お正信偈はほんとに
ありがたいですね。
作法・おつとめは、前

町・妙覚寺・脇谷さん)。とても身近な、
でも、やはり難しいテーマです。
残りわずかとなって参りました。
次回もともに学んで参りましょう。(石)

二〇一〇(平成二十二)年四月十七日、

十勝組、第八期「連研」が帯広別院を会場に開催されました。

参加者は、十一カ寺から三二人でした。

今回も開会式で

は全員で『正信偈』
をいただきました。

あるとき、ご門主

さまが「本願寺の

宝は何ですか？」

と尋ねられ、「ひと

つは念仏奉仕団、

ひとつはお農朝で、

みんなでいただく

お正信偈です」と

お答えになったと、どこかで聞いたこと



おつとめ・歌：渡邊さん

回に続いて『十
二札』、歌は『花
まつり行進曲』
でした。(担当・
帯広別院・渡邊

さん)。元気の良い曲で、何となく阪神
タイガースの応援歌、『六甲おろし』に
似ている気が(個人的には)しました。

テーマ提起・話し合い法座は、今まで



テーマ：脇谷さん

の「れんげん」を
全体的に振り返
り、また、参加者
が若干少なかつ
た十二月のテー
マ「神」や「差別」

の問題を、今一度考えてみました(清水



※ひとこと感想を紹介します。
「宗教には沢山の宗派があり、それぞれ
親から伝えられた教えを引き継いで来
たが、知らない部分が多くありました。
この連研の中で勉強させてもらいまし

た」「神様、仏
様は多くの
方々が双方を
敬っている事
を思うと、そ
れぞれの機会
に利用させて
貰って良いと
思います。双
方は生活上必

要だと思います」「回数が少なくなり講座

の話し合いが色々と変わりますが、これからはもっと自分（私自身）に仏教を修めて行きたいです」「テーマより外れい



ろいろ雑談が多くなりませんが、皆聞きたい事がたくさんあるのだと思いました。そんな時間（質問）があっても良かったのではないのでしょうか」「連研とは何か」とのことかと思

つつ、もうすぐ終わる時が来ました。色々な話し合いなどを聞きながら、自分なりに回を重ねるごとに色々教えられました。大変良かったです。これからも生きるではなく、生かされているので「聖典の中でまだ習っていない所が

ありますので、重誓偈、讚仏偈等をも少し習いたいです」「沢山の事を勉強させて頂き、自分の大きな財産が出来ました。胸を張って生きられます。そして生きている内に子供や孫にどのよう伝えて行こうか考えています。日曜学校などで子供たちに生きる大切さを教えて行けたら良いかなと思います」「連研へ参加して、同じ仲間と膝を交えてお話



が出来ることがとても楽しく参加できました」「連研も残り少なくなりました。この連研を通して、沢山の方面にお逢いして大



変勉強になりました。今回のテーマはふり返ってのお話でしたけど、自分の宗教が一番だと思っています。浄土真宗、バンザイ！」「今日で十二回を迎えました。人の話をまとめる

という事の難しさ、人の話を聞くことはできるのですが、でも顔なじみになったことで少し気持ちが楽になり、少しは進歩したのかなと思います」

東本願寺の「ゆるキャラ」



親鸞聖人を模したライオンの「鸞恩（らんおん）くん」、その娘でハスの「蓮（れん）ちゃん」、勤行集の「あかほんくん」。それぞれ燃香、仏華立て、お仏飯を担当している。

asahi.com(朝日新聞)より